

愛媛大学大学院地域レジリエンス学環
学生の確保の見通し等を記載した書類 参考資料 目次

資料1 ニーズ調査（アンケート）の案内と地域レジリエンス学環の説明資料（動画及びPDF資料）

資料2-1 本学在学学生に対するニーズ調査の質問票

資料2-2 社会人に対するニーズ調査の質問票

資料2-3 本学環の修了生採用とリカレント教育としての活用に関する調査の質問票

資料3-1 本学在学学生に対するニーズ調査の結果

資料3-2 社会人に対するニーズ調査の結果

資料3-3 本学環の修了生採用とリカレント教育としての活用に関する調査の結果

資料4 愛媛県からの要望書

【資料1】 ニーズ調査（アンケート）の案内と地域レジリエンス学環の説明資料（動画及びPDF資料）



愛媛大学が提案する
新たな大学院（修士課程）プログラム

令和5年度設置計画
中
(本プログラムの内容は予定であり
今後変更になる場合があります。)

地域レジリエンス学環（仮称）

アンケートにご協力ください

STEP 1. 説明動画（8分）を見る

<https://youtu.be/QzySQpAWgLk>



説明内容

- (1) 地域レジリエンス学環について
- (2) 学環（がっかん）とは？
- (3) 学環で養う力
- (4) 教育プログラム
- (5) 指導体制
- (6) 入試について
- (7) 社会人でも履修しやすい受講環境



PDF資料（説明動画と同じ内容）

https://drive.google.com/file/d/1tywq6DcHTvJh_AvJKXF8id8K4CjHxqVa/view?usp=sharing

STEP 2. アンケートに協力する（5分）

▶ 学生さん

<https://forms.office.com/r/dvHrjRJXzH>



▶ 社会人の方

<https://forms.office.com/r/RmMJtkVAPV>



※企業（採用担当部署）向けのアンケートURLは別途ご案内文書に記載しております

説明資料のポイント

- (1) **組織の名称** 大学院地域レジリエンス学環（修士課程）
愛媛大学の全研究科連係による分野横断型の新たな教育プログラム
- (2) **開設予定時期** 令和5年4月
- (3) **入学定員** 6人
- (4) **取得できる学位** 修士（学術）
- (5) **養成する人材像**
ICT・データ利活用や防災・減災をはじめとするレジリエンス向上の素養と実践力を身につけ、少子高齢化が進む地域社会で持続可能な地域づくりに貢献できる人材
- (6) **学べる内容、プログラムの特長**
 - ① ICT・データ利活用や防災・減災など、レジリエンスに関する幅広い専門知識が習得できる。
 - ② 協働力、実践力を涵養するためのプロジェクト形式による地域をフィールドにしたプログラムを用意。地域の課題をプロジェクト形式で学びその課題解決のための方法が習得できる。
 - ③ 異なる分野の複数の教員による手厚い研究指導体制。
- (7) **入試方法**
入学後に取り組みたい研究課題のプレゼンテーション、口頭試問を含む面接
(特定の専門分野に関する筆記試験はなし)
- (8) **社会人も履修しやすい環境構築**
長期履修制度、リモートや夜間・週末を利用した授業、修士論文に代わるリサーチペーパーの作成

令和5年度設置計画中
本プログラムの内容は予定であり
今後変更になる場合があります

愛媛大学が提案する
新たな大学院（修士課程）プログラム

地域レジリエンス学環（仮称）



1 

こんにちは。愛媛大学では令和5年度に新しい修士課程プログラムの設置を予定しています。その名は「地域レジリエンス学環」。その概要を紹介します。

説明内容

- (1) 地域レジリエンス学環について
- (2) 学環（がっかん）とは？
- (3) 学環で養う力
- (4) 教育プログラム
- (5) 指導体制
- (6) 入試について
- (7) 社会人でも履修しやすい受講環境

興味のあるチャプターをご覧ください

説明内容は以下のようになっています。興味のあるチャプターをご覧ください。

=====

=====

00:00 イン트로

00:19 もくじ

00:26 (1) 地域レジリエンス学環について

01:27 (2) 学環（がっかん）とは？

01:55 (3) 学環で養う力

02:50 (4) 教育プログラム

04:34 (5) 指導体制

05:20 (6) 入試について

06:34 (7) 社会人でも履修しやすい受講環境

07:37 (8) まとめ

=====

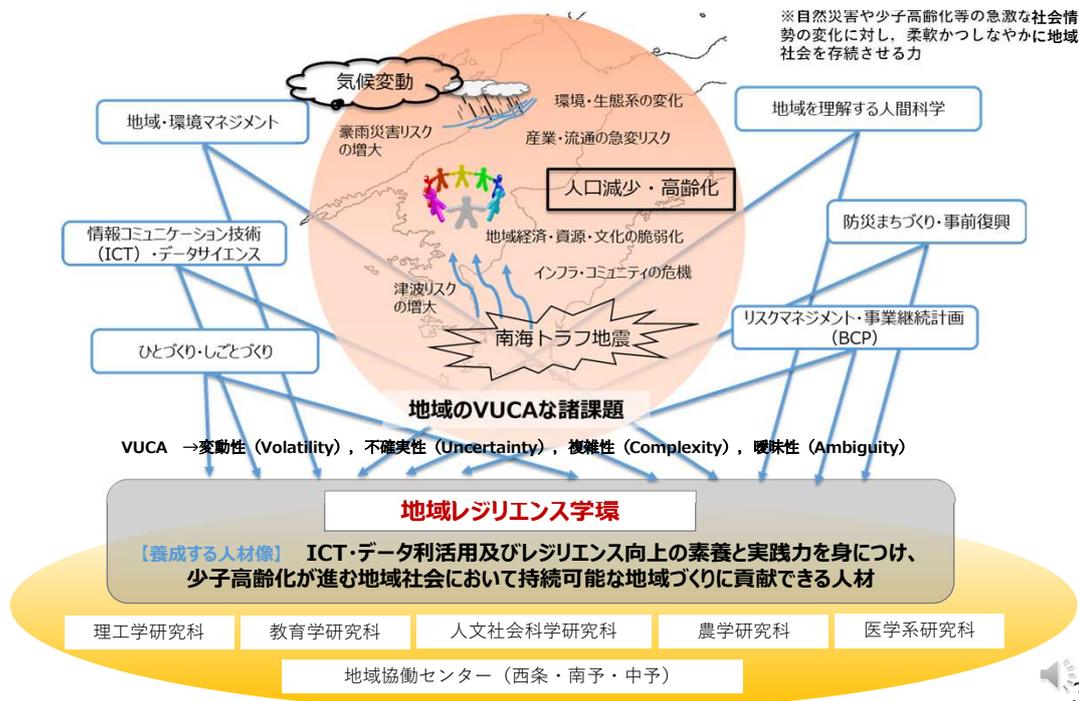
=====

地域レジリエンス学環（仮称）

令和5年度設置計画

本プログラムの内容は予定であり
今後変更になる場合があります

愛媛大学の教育リソースを結集した 研究科等連係課程（修士課程）を設置し、
「地域レジリエンス*」向上のための多角的・実践的な学修を可能とする教育プログラムを展開



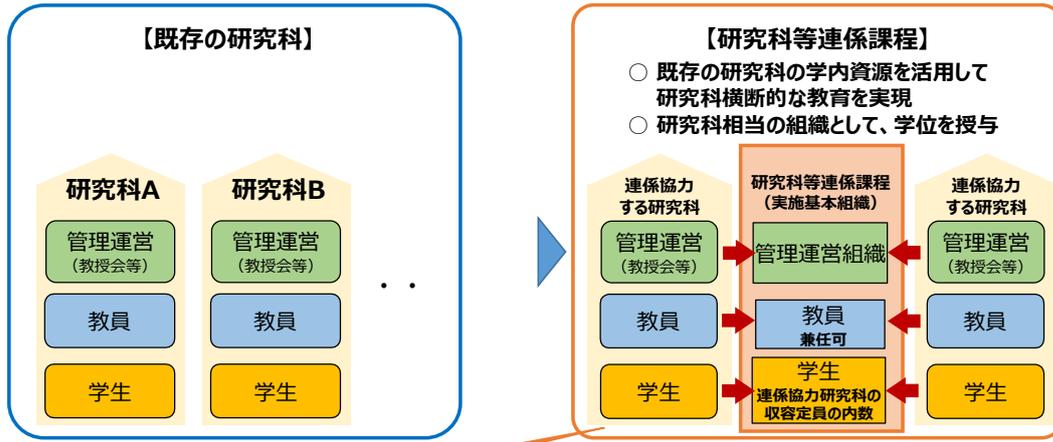
3

愛媛県を含む四国地域は、現在、少子高齢化が全国で最も進む地域の一つであると同時に、頻発化する豪雨や南海トラフ地震の自然災害リスクに曝されています。そして、柔軟かつしなやかな地域社会づくりが喫緊の課題となっています。

愛媛大学ではこのような社会ニーズに対応するため、全ての研究科および地域協働センターの教育リソースを結集して、「地域レジリエンス」の向上のための多角的・実践的な学習を可能とする教育プログラム（地域レジリエンス学環）の設置を計画しています。

養成する人材像は「ICTデータ利活用およびレジリエンス向上の素養と実践力を身につけ、少子高齢化が進む地域社会において持続可能な地域づくりに貢献できる人材」です。

学環（がっかん）とは？



本学での組織名称は
学環（がっかん）

複数の研究科がこれまで積み上げてきた教育研究をつなげて新たな学びの『環』を形成しようとするもの

（設置例）愛媛大学大学院医農融合公衆衛生学環（修士課程）令和4年度開設

分野横断的な教育課程を実施する上で特に必要があり、教育研究に支障がないと認められる場合、複数の学部・研究科との緊密な連携及び協力の下、それらが有する教員組織及び施設設備等の一部を用いて、関係課程実施基本組織を置くことができるものとする。

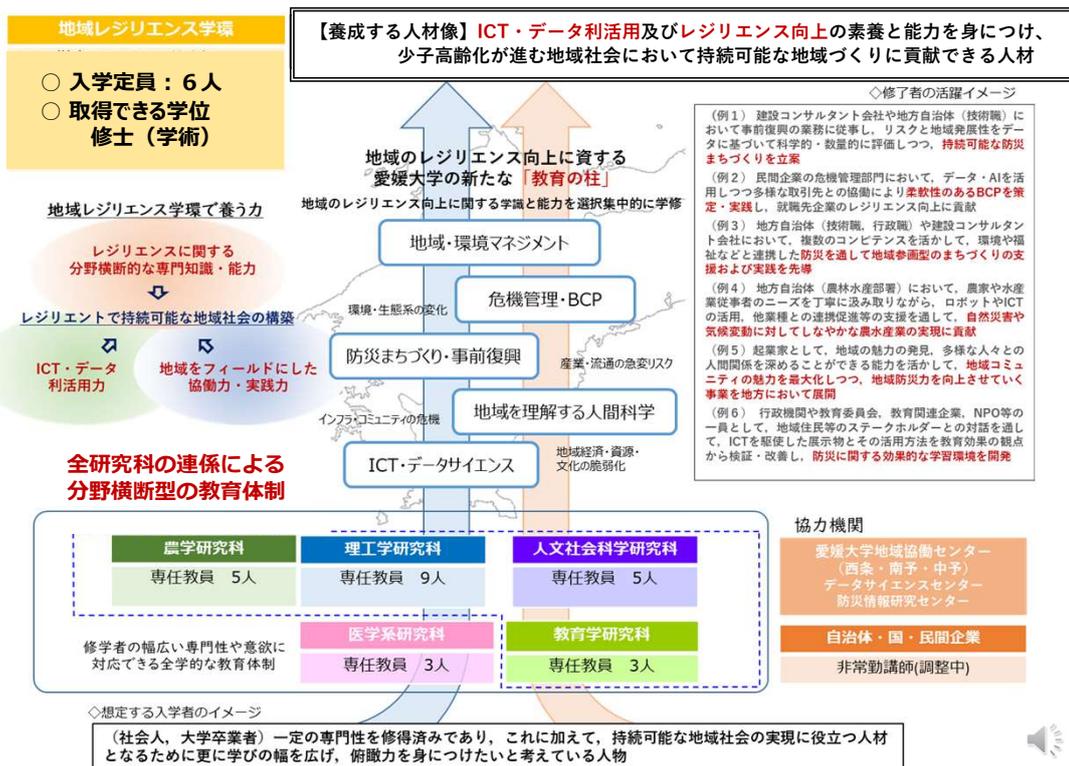
（大学院設置基準第30条の2 令和元年8月施行）

→ 複数の研究科が、専任教員を兼ねる形で、分野横断型の新たな教育課程を設置できるようになった。

大学院「地域レジリエンス学環」（修士課程）では、愛媛大学の**全研究科の連携協力のもと、地域のレジリエンス向上に関わる多角的・実践的な学修を可能とする教育プログラムを実現**

ここで学環とは何かについて説明します。これまでは、研究科Aや研究科Bがそれぞれの専門性を生かして学びの場を提供して来ましたが、近年、新しい制度により、複数の研究科が連携し、社会のニーズに合わせた柔軟な教育を提供できるようになりました。それを本学では「学環（がっかん）」と呼んでいます。

地域レジリエンス学環で養う力



本学環では、全研究科の連携による分野横断型の教育体制によって、修学者の幅広い専門性や意欲に対応します。ICTやデータサイエンス、地域を理解する人間科学、防災まちづくりや事前復興、危機管理とBCP、地域・環境マネジメントが選択集中的に学修できます。そして、レジリエンスに関する分野横断的な専門知識と能力、ICT・データ利活用力、及び地域をフィールドにした協働力・実践力を養うことで、レジリエントで持続可能な地域社会の構築に役立つ人材になることができます。取得できる学位は、修士(学術)です。

多角的・実践的な学修を可能とする教育プログラム

○印（赤字）は必修科目

年次	専門科目（13単位以上） 地域理解、ICT・データ利活用、レジリエンス向上のための 分野横断的な専門学識を深化			実践科目（7単位以上） プロジェクト形式により 地域をフィールドにした 協働力、実践力を涵養	特別研究科目（必修4単位） 研究計画書の作成、研究計画に 基づいたデータ収集・分析、研究 論文の執筆・発表について修得
M2 後期	学位論文または特定の課題についての研究成果				○特別演習IV
M2 前期	公共ガバナンス論II ○公共ガバナンス論I コミュニティ心理学特論	バイオインフォマティクス 特論 災害情報学	国際防災戦略と 危機対応 災害医療と 地域包括ケア	○地域レジリエンス PBL III（2単位） 地域協働インターンシップII	○特別演習III
M1 後期	環境情報マネジメント 環境経済学 海域社会論 ○自然社会環境論 人類学特論 地域マネジメント論II ○地域マネジメント論I	知的食料生産科学 特論（2単位） ○ICT/データサイエンス / AI 特論 （2単位） センシングと応用 （2単位）	災害と福祉法政策 リスクコミュニケーション ○危機管理と事前復 興・事業継続計画 ○防災・減災工学 （2単位）	○地域レジリエンス PBL II（2単位） ○地域協働 インターンシップ I	○特別演習II
M1 前期	基盤科目（必修6単位） レジリエントな地域社会を実現するための 基礎的な素養を学修			○地域レジリエンス PBL I（2単位）	○特別演習I
	○サーベイメソッド・プログラ ム評価法 ○デジタルエスノグラフィー 実習	○データサイエンス 概論	○レジリエンス学概論 ○SDGs概論	○プロジェクトマネジメント 概論	

**修了要件：30単位以上を修得することに加え、学位論文または特定の課題について
の研究成果を提出し、審査及び最終試験に合格すること**



本学環の教育プログラムを、より詳しく見て行きましょう。

1年生の前期では、基盤科目として、レジリエントな地域社会を実現するための基礎的な素養を学修します。例えばSDGs概論、レジリエンス学概論、データサイエンス概論、プロジェクトマネジメント概論などがあります。他にも、地域を分析するためのエスノグラフィー実習、様々な調査法を学ぶサーベイメソッド・プログラム評価法を受講します。

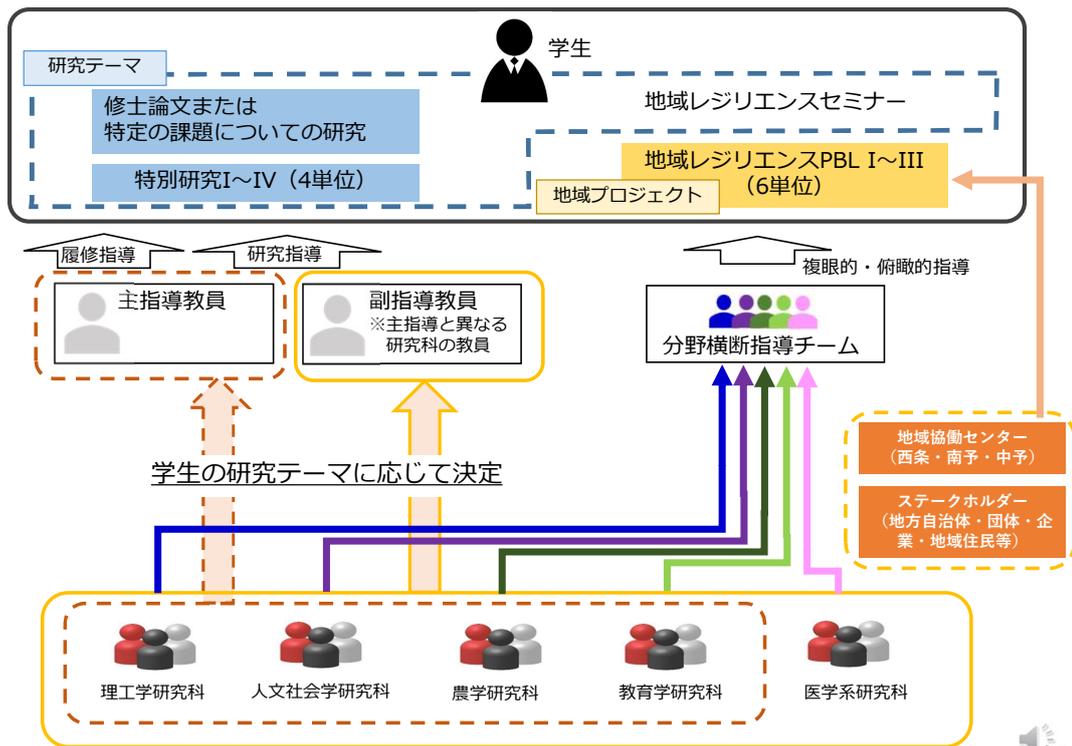
その先には、専門科目として、地域理解、ICT・データ利活用、レジリエンス向上のための分野横断的な専門学識を修得します。受講者の皆様の多様な興味に応じて多くの科目を選択することができます。なお、赤い丸印がついてある科目は必修科目です。

また同時並行で、実践科目を学修します。プロジェクト形式により、地域をフィールドにした課題解決に取り組むことにより、協働力・実践力を身につけることができます。

特別研究科目は、研究の進め方や論文の執筆・発表の方法を、指導教員のもとで修得します。

修了要件は、30単位以上を修得することに加え、学位論文または特定の課題についての研究成果を提出していただき、審査及び最終試験に合格することです。

手厚い指導体制



次に指導体制について説明します。

学生さんの取り組む地域プロジェクトに対して、全ての研究科から構成される分野横断指導チームによって、複眼的・俯瞰的な指導が行われます。

また皆様の研究テーマに応じて主指導教員と副指導教員が決定されます。副指導教員は主指導教員と異なる研究科の教員が担当します。これにより、皆様の修士論文や特定の課題についての研究に対して、専門的かつ客観的な研究指導や履修指導が行われます。

どのような方に学んでほしいか？

持続可能な地域社会の実現に役立つ人材となるために学びの幅を広げ、 俯瞰力と実践力を身につけたいと考えている方

社会人

行政職員、民間企業、NGO/NPOの職員、
退職後に地域貢献しようとする一般の方（ITター
ンやUターン人材）、政治を志している方

学部卒業者

文系・理系を問わず、自身の専門分野を生かし
て持続可能な地域社会の実現に役立ちたい方

入試情報

募集人員 6名

試験内容 入学後に取り組みたい研究課題のプレゼンテーション、口頭試問を含む面接
以下のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）に合致しているか評価します

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

- AP1：(知識・理解) レジリエンスに関する分野横断的な専門知識を学ぶために必要な基礎学力を有している
- AP2：(思考・判断、技能・表現) 物事を多面的に考察し、自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる
- AP3：(興味・関心・意欲、態度) 地域社会の持続可能な発展に強い関心を持ち、本学環で得る専門性をそれに活かしていこうとしている
- AP4：(主体性・多様性・協働性) 地域社会の持続可能な発展に寄与するための地域プロジェクトを立ち上げ、あるいは参加し、中心的な役割を担おうとしている

入学時に必要な経費は、おおむね下記のとおりです。

入学金282,000円 授業料 年額535,800円

各種、奨学金制度もあります。詳しくはこちら。 <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/scholarship/scholarship/>



どのような方に学んでほしいか？

それは「持続可能な地域社会の実現に役立つ人材となるために学びの幅を広げ俯瞰力と実践力を身につけたいと考えている方」です。

社会人而言えば、行政の職員、民間企業やNGO/NPO団体の職員、退職後に地域貢献しようとする方、政治を志している方などです。また学部卒業者而言えば、文系理系を問わず、自身の専門分野を生かして、持続可能な地域社会の実現に役立ちたい方です。

入試についてですが、募集人員は6名を予定しています。試験については、入学後に取り組みたい研究課題のプレゼンテーション、口頭試問を含む面接によって行います。

以下に掲げているアドミッションポリシー入学者受入方針に合致しているかを評価します。

なお入学時に必要な経費はおおむね下記の通りとなっています。各種、奨学金制度もありますのでご確認ください。

1. 長期履修制度

社会人入学者等のうち、申請により許可を得た学生は、標準修業年限(2年)を超えて、一定の期間(3年又は4年)にわたり計画的に履修し、修了することが可能です
なお、この場合の授業料は、例えば3年の履修でも2年分となります

2. リモートや夜間・週末授業

一部の科目ではコンテンツ授業やリモート授業を活用します

また演習科目では社会人学生が参加できるよう、夜間の授業時間(18時から21時)、もしくは土曜日に実施します

3. 「特定の課題についての研究の成果(リサーチペーパー)」

修士論文に代えて、「特定の課題についての研究の成果(以下、リサーチペーパー)」を提出することができます

リサーチペーパーとは、学生が特定の課題を分析し実践的な提案や解決策等を示す研究成果報告書であり、修士論文と同等の審査が行われます

リサーチペーパーを提出できるのは、原則として社会人学生であり、承認を必要とします



本学環では、社会人の方でも履修しやすい受講環境を整えます。
一つ目は長期履修制度です。社会人入学者のうち申請によって許可を得られた学生は標準の2年を超えて3年または4年に渡り履修して修了することが可能です。
二つ目は、リモート授業や夜間・週末授業の実施です。一部の科目ではコンテンツ授業やリモート授業を活用します。また演習科目では社会人学生が参加できるよう夜間の授業時間や土曜日に実施することとします。
三つ目は特定の課題についての研究の成果です。修士論文に代えて、リサーチペーパー提出することが可能です。リサーチペーパーとは特定の課題を分析し実践的な提案や解決策などを示す研究成果報告書のことであり、修士論文と同等の審査が行われます。

まとめ

- (1) **組織の名称** 大学院 地域レジリエンス学環（修士課程）
愛媛大学の全研究科連係による分野横断型の新たな教育プログラム
- (2) **開設予定時期** 令和5年4月
- (3) **入学定員** 6人
- (4) **取得できる学位** 修士（学術）
- (5) **養成する人材像**
ICT・データ利活用や防災・減災をはじめとするレジリエンス向上の素養と実践力を身につけ、少子高齢化が進む地域社会で持続可能な地域づくりに貢献できる人材
- (6) **学べる内容、プログラムの特長**
 - ① ICTデータ利活用や防災減災等など、レジリエンスに関する幅広い専門知識が習得できる。
 - ② 協働力、実践力を涵養するためのプロジェクト形式による地域をフィールドにしたプログラムを用意。地域の課題をプロジェクト形式で学びその課題解決のための方法が習得できる。
 - ③ 異なる分野の複数の教員による手厚い研究指導体制。
- (7) **入試方法**
入学後に取り組みたい研究課題のプレゼンテーション、口頭試問を含む面接（特定の専門分野に関する筆記試験はなし）
- (8) **社会人も履修しやすい環境構築**
長期履修制度、リモートや夜間・週末を利用した授業、修士論文に代わるリサーチペーパーの作成

アンケートへのご協力をお願いします！



説明は以上となります。
地域レジリエンス学環で、皆様と共に学べることを楽しみにしております。

最後になりますが、アンケートへのご協力をお願いします。

↓↓

アンケートにご協力ください

学生さん向けアンケート <https://forms.office.com/r/dvHrjRjXzH>

社会人向けアンケート <https://forms.office.com/r/RmMJtkVAPV>

※企業（採用担当部署）向けのアンケートURLは別途ご案内文書に記載しております



愛媛大学新設大学院・学生ニーズ調査

愛媛大学では、「地域レジリエンス学環（仮称）」（修士課程）を2023年（令和5年）度の設置に向けて検討中です。愛媛県を含む四国地域は、少子高齢化の最も進む地域の1つであると同時に、頻発化する豪雨や南海トラフ地震の自然災害リスクに曝されている地域です。そこで本学環は「ICT・データ活用及びレジリエンス向上の素養と能力を身につけ、持続可能な地域づくりに貢献できる人材育成」に寄与したいと考えています。つきましては、この新設大学院へのニーズについてご意見を伺いたく、アンケートへの回答をお願いいたします。5分ほどで回答は完了いたします。何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

Section 1

...

I あなたご自身のことについて

1. いまお持ちの学位について、あなたに当てはまる項目を選択してください。*

- 無し（大学在学中含む）
- 短期大学士・準学士（高専を含む）
- 学士
- 修士
- 博士

2. 現在の学年について、あなたに当てはまる項目を選択してください。*

- 学部学生1年生
- 学部学生2年生
- 学部学生3年生
-

3. 現在の所属について、あなたに当てはまる項目を選択してください。*

- 法文学部
- 教育学部
- 社会共創学部
- 理学部
- 医学部
- 工学部
- 農学部
-

4. 法文学部ではどの課程に所属していますか。*

- 人文社会学科
- 総合政策学科
- 人文学科

5. 教育学部ではどの課程に所属していますか。*

- 学校教育教員養成課程
- 特別支援教育教員養成課程
- 総合人間形成課程
- 芸術文化課程

6. 社会共創学部ではどの学科に所属していますか。*

- 産業マネジメント学科
- 産業イノベーション学科
- 環境デザイン学科
- 地域資源マネジメント学科

7. 理学部ではどの学科に所属していますか。*

- 理学科
- 数学科
- 物理学科
- 化学科
- 生物学科
- 地球科学科

8. 医学部ではどの学科に所属していますか。*

- 医学科
- 看護学科

9. 工学部ではどの学科に所属していますか。*

- 工学科
- 機械工学科
- 電気電子工学科
- 環境建設工学科
- 機能材料工学科
- 応用化学科
- 情報工学科

10. 農学部ではどの学科に所属していますか。 *

- 食料生産学科
- 生命機能学科
- 生物環境学科
- 生物資源学科

11. 現在、修士課程の大学院進学を考えていますか。 *

- 考えている
- 少し考えている
- まったく考えていない

12. 現時点の大学院の編成では、どの修士課程への進学を検討していますか（複数回答）。 *

- 愛媛大学の大学院（人文社会科学研究科）
- 愛媛大学の大学院（理工学研究科）
- 愛媛大学の大学院（農学研究科）
- 愛媛大学の大学院（上記以外の研究科）
- 愛媛大学以外の大学院
-

II 愛媛大学大学院地域レジリエンス学環について

13. 地域レジリエンス学環に進学するとすれば、その目的について当てはまる項目を選んでください（複数回答可）。 *

- 修士号の取得
- 防災・減災に関する専門性の修得
- （事前）復興に関する専門性の修得
- ICTに関する専門性の修得
- 持続可能な発展に関する専門性の修得
- 心的ケアに関する専門性の修得
- 地域教育に関する専門性の修得
- 研究能力の向上
- 就職先での地域の課題にかかる課題解決
- 就職先での地域の課題にかかる実践能力の向上
- 該当なし
-

14. 地域レジリエンス学環はあなたにとって魅力的だと思いますか。該当の項目を選んでください。

*

- とても魅力的
- 魅力的
- 魅力的ではない
- 全く魅力的ではない

15. 愛媛大学に地域レジリエンス学環が新設された場合に進学したいと思いますか。 *

- 進学したい
- 進学を検討したい
- 進学したいとは思わない

16. いつごろの進学を考えていますか。 *

- 2023年（令和5年度）に進学したい
- 数年以内に進学したい
- 現時点では時期はわからない

17. 地域レジリエンス学環にはどのような制度があれば進学しやすいと考えますか（複数回答可）。

*

- 長期履修制度
- 早期修了制度
- 夜間開講／土日開講
- 同期型の遠隔授業
- オンデマンド（非同期）型の授業
- 給付型の奨学金
- 就職先と愛媛大学の連携協定
- 特になし

18. 本学の地域レジリエンス学環の新設について、コメントやご提案、さらに聞きたいこと等がありましたら、ご記入ください。

Enter your answer

愛媛大学新設大学院・社会人ニーズ調査

愛媛大学では、「地域レジリエンス学環（仮称）」（修士課程）を2023年（令和5年）度の設置に向けて検討中です。愛媛県を含む四国地域は、少子高齢化の最も進む地域の1つであると同時に、頻発化する豪雨や南海トラフ地震の自然災害リスクに曝されている地域です。そこで本学環は「ICT・データ利活用及びレジリエンス向上の素養と能力を身につけ、持続可能な地域づくりに貢献できる人材育成」に寄与したいと考えています。つきましては、この新設大学院へのニーズについてご意見を伺いたく、アンケートへの回答をお願いいたしました。5分ほどで回答は完了いたします。何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

* Required

I あなたご自身のことについて

1. 年齢について、あなたに当てはまる項目を選択してください。*

- 18-24歳
- 25-29歳
- 30-34歳
- 35-39歳
- 40-44歳
- 45-49歳
- 50-54歳
- 55歳以上

2. いまお持ちの学位について、あなたに当てはまる項目を選択してください。*

- 無し（大学在学中含む）
- 短期大学士・準学士（高専を含む）
- 学士
- 修士
- 博士

3. 現在のお立場や職種について、あなたに当てはまる項目を選択してください。*

- 公務員
- 会社員
- 自営業
- パート・アルバイト
- NPOやNGO

Other

4. 現在、修士課程の大学院進学を考えていますか。 *

- まったく考えていない
- 考えている
- 少し考えている

5. 現時点の大学院の編成では、どの修士課程への進学を検討していますか（複数回答） *

- 愛媛大学の大学院（人文社会科学研究科）
- 愛媛大学の大学院（理工学研究科）
- 愛媛大学の大学院（農学研究科）
- 愛媛大学の大学院（上記以外の研究科）
- 愛媛大学以外の大学院

Other

II 愛媛大学大学院地域レジリエンス学環について

6. 地域レジリエンス学環に進学するとすれば、その目的について当てはまる項目を選んでください（複数回答可）。*

- 修士号の取得
 - 防災・減災に関する専門性の修得
 - （事前）復興に関する専門性の修得
 - ICTに関する専門性の修得
 - 持続可能な発展に関する専門性の修得
 - 心的ケアに関する専門性の修得
 - 地域教育に関する専門性の修得
 - 研究能力の向上
 - 地域の課題にかかる課題解決
 - 地域の課題にかかる実践能力の向上
 - キャリアアップ
 - 該当なし
 -
- Other

7. 地域レジリエンス学環はあなたにとって魅力的だと思いますか。該当の項目を選んでください。*

- とても魅力的
- 魅力的
- 魅力的ではない
- 全く魅力的ではない

8. 愛媛大学に地域レジリエンス学環が新設された場合に進学したいと思いますか。*

- 進学したい
- 進学を検討したい
- 進学したいとは思わない

9. いつごろの進学を考えていますか。*

- 2023年（令和5年度）に進学したい
- 数年以内に進学したい
- 現時点では時期はわからない

10. 地域レジリエンス学環にはどのような制度があれば進学しやすいと考えますか（複数回答可）。*

- 長期履修制度
- 早期修了制度
- 夜間開講／土日開講
- 同期型の遠隔授業
- オンデマンド（非同期）型の授業
- 給付型の奨学金
- 現在の職場と愛媛大学の連携協定
- 特になし

11. 本学の地域レジリエンス学環の新設について、コメントやご提案、さらに聞きたいこと等がありましたら、ご記入ください。

【資料2-3】 本学環の修了生採用とリカレント教育としての活用に関する調査の質問票

愛媛大学新設大学院の修了生採用とリカレント教育としての活用に関する調査

愛媛大学では、「地域レジリエンス学環（仮称）」（修士課程）を2023年（令和5年）度の設置に向けて検討中です。愛媛県を含む四国地域は、少子高齢化の最も進む地域の1つであると同時に、頻発化する豪雨や南海トラフ地震の自然災害リスクに曝されている地域です。そこで本学環は「ICT・データ活用及びレジリエンス向上の素養と能力を身につけ、持続可能な地域づくりに貢献できる人材育成」に寄与したいと考えています。つきましては、この新設大学院へのニーズについてご意見を伺いたく、アンケートへの回答をお願いいたしました。5分ほどで回答は完了いたします。何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

* Required

I 貴社・貴機関のことについて

1. 貴社・貴機関の属する業種について、以下から該当するものを1つお選びください。*

- 卸売、小売
- 電気・ガス・熱供給・水道
- 製造
- 教育、学習支援
- 金融、保険
- 情報通信
- 学術研究、専門・技術サービス
- 宿泊業、飲食サービス
- 建設
- サービス（他に分類されるものを除く）
- 公務（他に分類されるものを除く）

2. 貴社・貴機関の従業員数について、以下から該当するものを1つお選びください。*

- 50人未満
- 50~100人未満
- 100~500人未満
- 500~1,000人未満
- 1,000~5,000人未満
- 5,000人以上

3. 差し支えなければ貴社・貴機関のお名前をご記入ください。

II 地域レジリエンス学環について

4. 愛媛大学では、令和5年度に地域レジリエンス学環を新設することを検討しています。貴社・貴機関からご覧になって、地域レジリエンス学環を修了することは、どのような点で魅力を感じますか。当てはまる項目を選んでください（複数回答可）。*

- 修士号が取得できること
 - 防災・減災に関する専門性が修得できること
 - （事前）復興に関する専門性が修得できること
 - ICTに関する専門性が修得できること
 - 地域社会の持続可能な発展に関する専門性が修得できること
 - 国際社会の持続可能な発展に関する専門性が修得できること
 - 心的ケアに関する専門性が修得できること
 - 地域教育に関する専門性が修得できること
 - 研究開発能力が身につくこと
 - 地域の課題にかかる課題解決能力が身につくこと
 - 地域の課題にかかる実践能力が身につくこと
 -
- Other

5. 貴社・貴機関からご覧になってこの学環の構想は魅力的だと思いますか。該当の項目を選んでください。*

- とても魅力的
- 魅力的
- 魅力的ではない
- 全く魅力的ではない

III 地域レジリエンス学環の修了生について

6. 地域レジリエンス学環が設置された場合、貴社・貴機関は地域レジリエンス学環の修了者についてどのようにお考えですか。*

- 積極的に採用したい
- どちらかと言えば採用したい
- 採用したいと思わない
- わからない

IV 貴社・貴機関の社員等のリカレント教育としての活用について

7. リカレント教育の一環として貴社・貴機関の社員等を地域レジリエンス学環に入学させたいですか。 *

- ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）
 - ぜひ入学させたい（費用は一部また全学を本人負担）
 - 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）
 - 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は一部また全学を本人負担）
 - 必要性を感じない
 - わからない
 -
- Other

8. 地域レジリエンス学環にはどのような制度があれば、リカレント教育の場として利用しやすいと考えますか（複数回答可）。 *

- 長期履修制度
 - 早期修了制度
 - 夜間開講／土日開講
 - 遠隔授業
 - オンデマンド型の授業
 - 給付型の奨学金
 - 現在の職場と愛媛大学の連携協定
 - 該当なし
 -
- Other

9. 貴社・貴機関の社員等が地域レジリエンス学環にリカレント教育の一環として入学することに関して何が障害だと考えられますか（複数回答可）。 *

- 本人の業務と大学での学習の時間的両立が困難
 - 業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られにくい
 - 大学院の学習内容は業務現場において活用しにくい
 -
- Other

10. 本学の地域レジリエンス学環の新設について、コメントやご提案、さらに聞きたいこと等がありましたら、ご記入ください。

【資料 3-1】 本学在学学生に対するニーズ調査の結果

1. いまお持ちの学位について、あなたに当てはまる項目を選択してください。

[More Details](#)

● 無し（大学在学中含む）	189
● 短期大学士・準学士（高専を...	0
● 学士	6
● 修士	0
● 博士	0



2. 現在の学年について、あなたに当てはまる項目を選択してください。

[More Details](#)

[Insights](#)

● 学部学生 1 年生	86
● 学部学生 2 年生	60
● 学部学生 3 年生	49
● Other	0

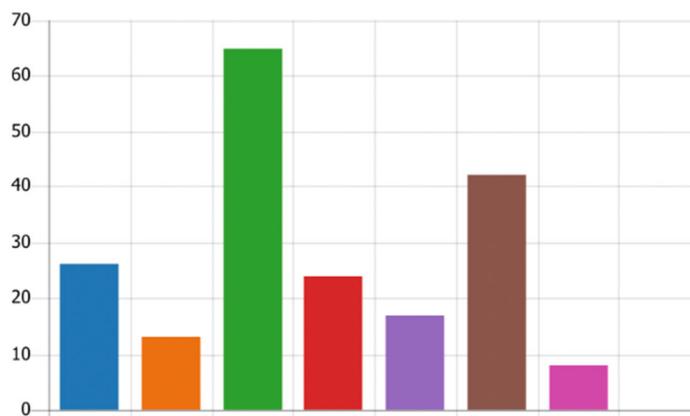


3. 現在の所属について、あなたに当てはまる項目を選択してください。

[More Details](#)

[Insights](#)

● 法文学部	26
● 教育学部	13
● 社会共創学部	65
● 理学部	24
● 医学部	17
● 工学部	42
● 農学部	8
● Other	0



4. 法文学部ではどの課程に所属していますか。

[More Details](#)

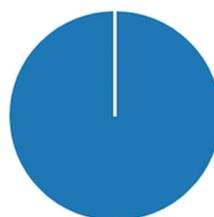
● 人文社会学科	24
● 総合政策学科	2
● 人文学科	0



5. 教育学部ではどの課程に所属していますか。

[More Details](#)

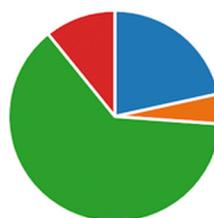
● 学校教育教員養成課程	13
● 特別支援教育教員養成課程	0
● 総合人間形成課程	0
● 芸術文化課程	0



6. 社会共創学部ではどの学科に所属していますか。

[More Details](#)

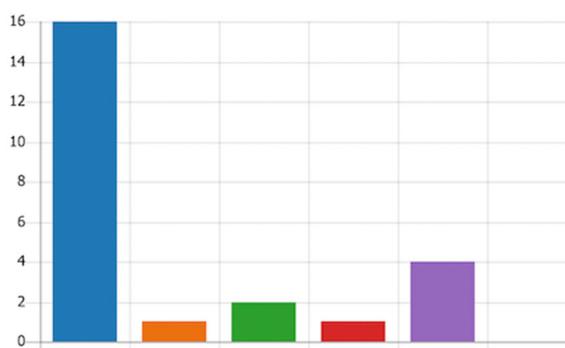
● 産業マネジメント学科	14
● 産業イノベーション学科	3
● 環境デザイン学科	41
● 地域資源マネジメント学科	7



7. 理学部ではどの学科に所属していますか。

[More Details](#)

● 理学科	16
● 数学科	1
● 物理学科	2
● 化学科	1
● 生物学科	4
● 地球科学科	0



8. 医学部ではどの学科に所属していますか。

[More Details](#)

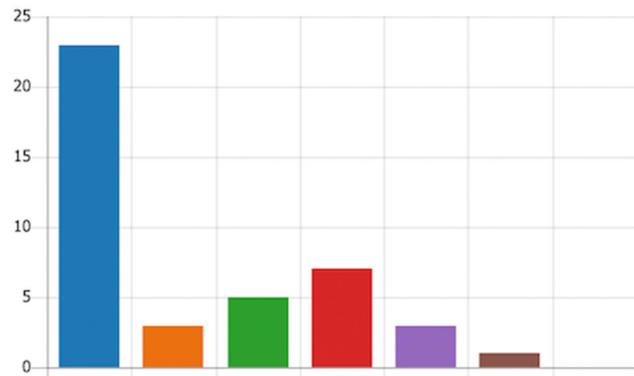
● 医学科	12
● 看護学科	5



9. 工学部ではどの学科に所属していますか。

[More Details](#)

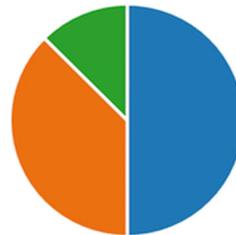
● 工学科	23
● 機械工学科	3
● 電気電子工学科	5
● 環境建設工学科	7
● 機能材料工学科	3
● 応用化学科	1
● 情報工学科	0



10. 農学部ではどの学科に所属していますか。

[More Details](#)

● 食料生産学科	4
● 生命機能学科	3
● 生物環境学科	1
● 生物資源学科	0



11. 現在、修士課程の大学院進学を考えていますか。

[More Details](#)

Insights

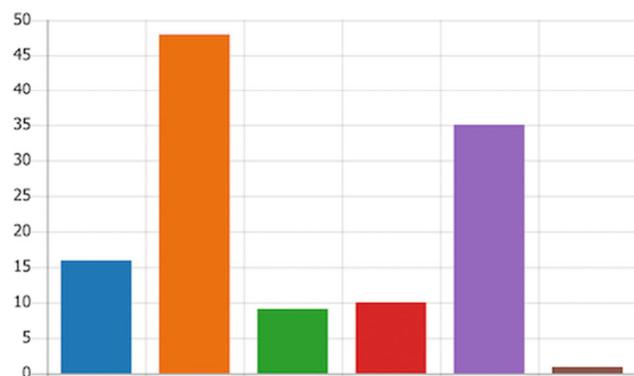
● 考えている	39
● 少し考えている	58
● まったく考えていない	98



12. 現時点の大学院の編成では、どの修士課程への進学を検討していますか（複数回答）。

[More Details](#)

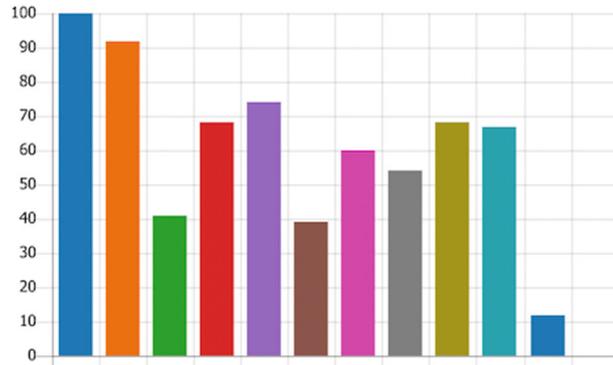
● 愛媛大学の大学院（人文社会...）	16
● 愛媛大学の大学院（理工学研...）	48
● 愛媛大学の大学院（農学研究...）	9
● 愛媛大学の大学院（上記以外...）	10
● 愛媛大学以外の大学院	35
● Other	1



13. 地域レジリエンス学環に進学するとすれば、その目的について当てはまる項目を選んでください（複数回答可）。

[More Details](#)

● 修士号の取得	100
● 防災・減災に関する専門性の...	92
● (事前)復興に関する専門性...	41
● ICTに関する専門性の修得	68
● 持続可能な発展に関する専門...	74
● 心的ケアに関する専門性の修得	39
● 地域教育に関する専門性の修得	60
● 研究能力の向上	54
● 就職先での地域の課題にかか...	68
● 就職先での地域の課題にかか...	67
● 該当なし	12
● Other	0

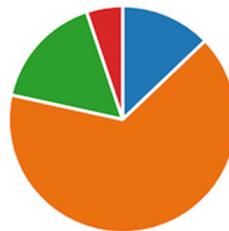


14. 地域レジリエンス学環はあなたにとって魅力的だと思いますか。該当の項目を選んでください。

[More Details](#)

[Insights](#)

● とても魅力的	25
● 魅力的	128
● 魅力的ではない	32
● 全く魅力的ではない	10

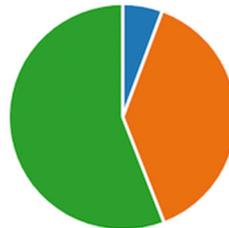


15. 愛媛大学に地域レジリエンス学環が新設された場合に進学したいと思いますか。

[More Details](#)

[Insights](#)

● 進学したい	11
● 進学を検討したい	75
● 進学したいとは思わない	109



16. いつごろの進学を考えていますか。

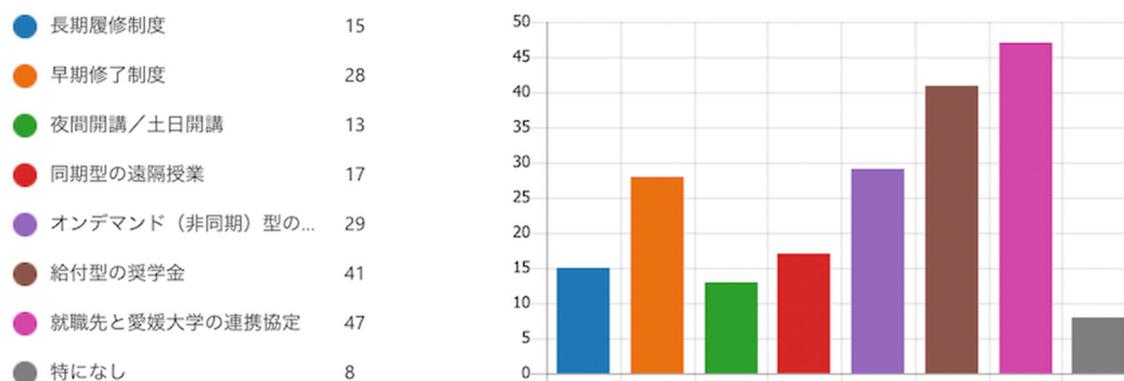
[More Details](#)

● 2023年（令和5年度）に進学...	20
● 数年以内に進学したい	22
● 現時点では時期はわからない	44



17. 地域レジリエンス学環にはどのような制度があれば進学しやすいと考えますか（複数回答可）。

[More Details](#)



18. 本学の地域レジリエンス学環の新設について、コメントやご提案、さらに聞きたいこと等がありましたら、ご記入ください。

1	もう少し物理・数学に関する授業が欲しい
2	面白そうな取り組みだと思う。地域振興や課題解決にすごく興味がある人にとってはうってつけだと思う。
3	今まで大学院進学は全く考えていなかったが、地域レジリエンス学環が新設されると聞き選択肢が増えたように感じた。
4	防災だけでなく環境(生態系など)にフォーカスしたカリキュラム(環境調査や生態系調査など)があれば進学したいと思う。
5	留学制度があればより進学したいと思いました。
6	今の時点で自分のやりたいことがあるから
7	学環の名前がカタカナでどのような事が学べるのかが分かりづらい。
8	これは愛媛が地元の人限定の、愛媛での実践活動が主なものなののでしょうか。県外からの人たちはここで学ぶ意義はあるのでしょうか、それとも元々地元民を対象にしたものなののでしょうか。
9	すごく面白そうだなあって家族と話しました！興味があります！

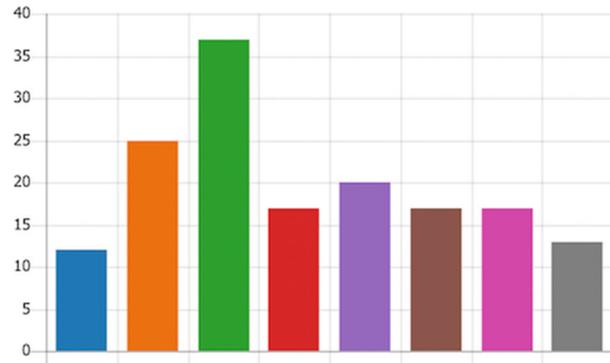
10	理工学研究科(数学)に属しながら、医学部の先生とコンタクトを取り、医学的な研究を行えるのか知りたいです。具体的には医学統計学の研究を考えています。
11	本学環で学んだ後にどのように活躍してもらいたいのかを明確にした方が良い。学んだ後にどのように地域のために働く可能性があるのかを試験内容に入れるべきである。

【資料 3-2】 社会人に対するニーズ調査の結果

1. 年齢について、あなたに当てはまる項目を選択してください。

[More Details](#)

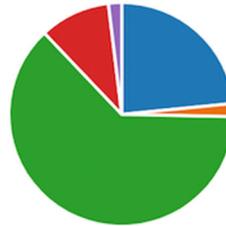
● 18-24歳	12
● 25-29歳	25
● 30-34歳	37
● 35-39歳	17
● 40-44歳	20
● 45-49歳	17
● 50-54歳	17
● 55歳以上	13



2. いまお持ちの学位について、あなたに当てはまる項目を選択してください。

[More Details](#)

● 無し（大学在学中含む）	37
● 短期大学士・準学士（高専を...）	3
● 学士	99
● 修士	16
● 博士	3

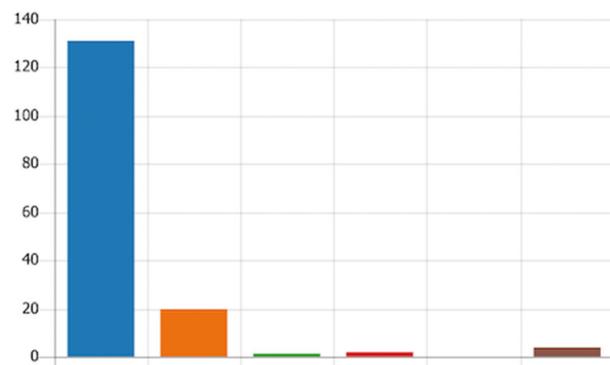


3. 現在のお立場や職種について、あなたに当てはまる項目を選択してください。

[More Details](#)

[Insights](#)

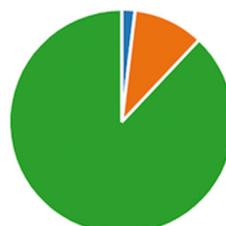
● 公務員	131
● 会社員	20
● 自営業	1
● パート・アルバイト	2
● NPOやNGO	0
● Other	4



4. 現在、修士課程の大学院進学を考えていますか。

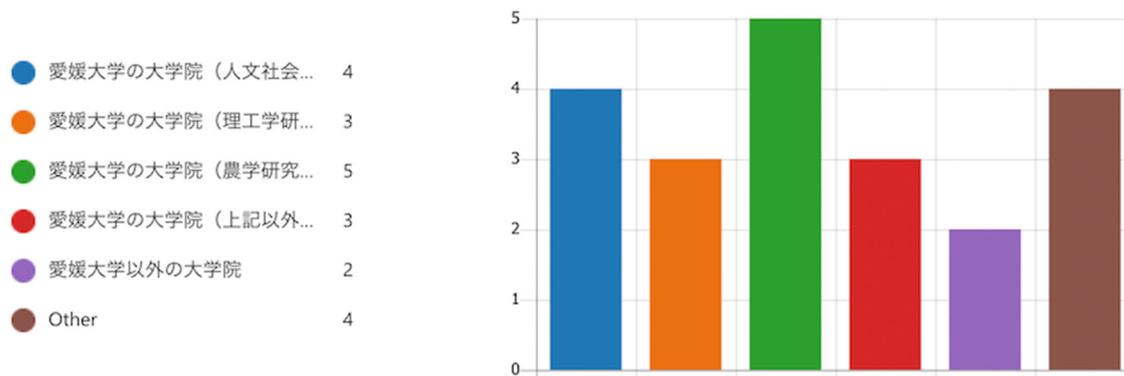
[More Details](#)

● 考えている	3
● 少し考えている	16
● まったく考えていない	139



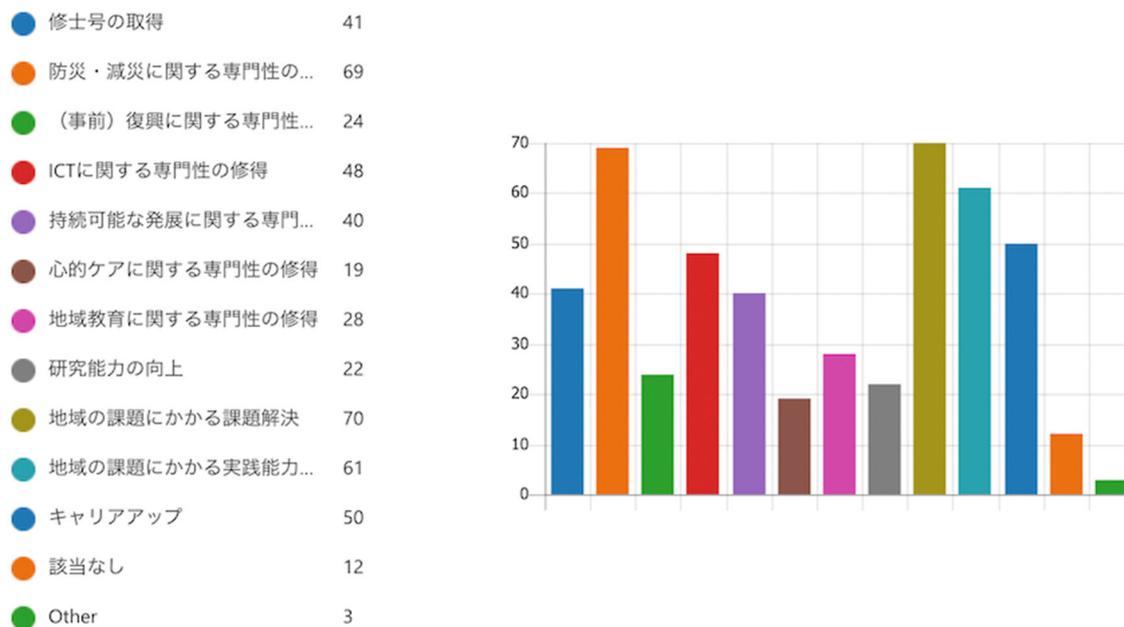
5. 現時点の大学院の編成では、どの修士課程への進学を検討していますか（複数回答）

[More Details](#)



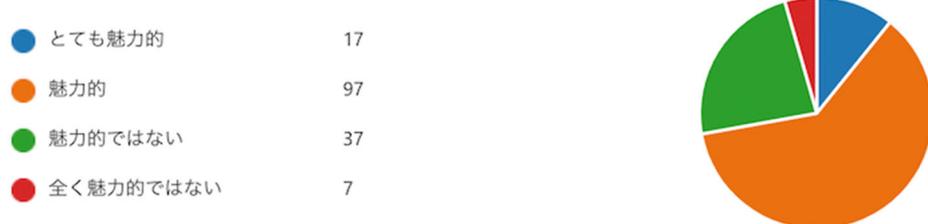
6. 地域レジリエンス学環に進学するとすれば、その目的について当てはまる項目を選んでください（複数回答可）。

[More Details](#)



7. 地域レジリエンス学環はあなたにとって魅力的だと思いますか。該当の項目を選んでください。

[More Details](#)



8. 愛媛大学に地域レジリエンス学環が新設された場合に進学したいと思いますか。

[More Details](#)

 Insights

	進学したい	5
	進学を検討したい	30
	進学したいとは思わない	123



9. いつごろの進学を考えていますか。

[More Details](#)

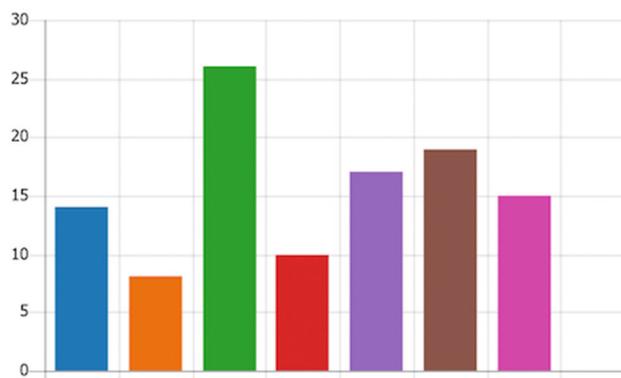
	2023年（令和5年度）に進学...	3
	数年以内に進学したい	9
	現時点では時期はわからない	23



10. 地域レジリエンス学環にはどのような制度があれば進学しやすいと考えますか（複数回答可）。

[More Details](#)

	長期履修制度	14
	早期修了制度	8
	夜間開講／土日開講	26
	同期型の遠隔授業	10
	オンデマンド（非同期）型の...	17
	給付型の奨学金	19
	現在の職場と愛媛大学の連携...	15
	特になし	0



11. 本学の地域レジリエンス学環の新設について、コメントやご提案、さらに聞きたいこと等がありましたら、ご記入ください。

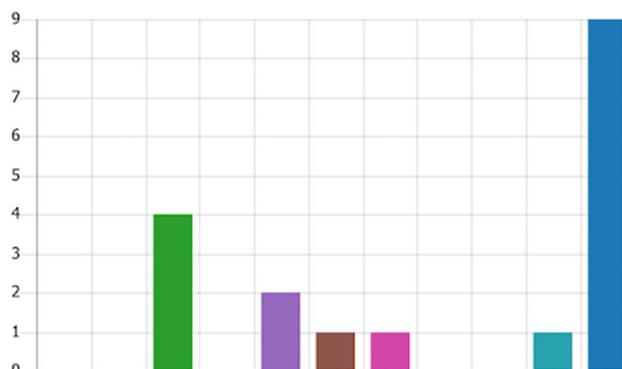
1	愛媛大学の修士号(理学)をすでに所持していますが、受講可能でしょうか。
2	大学院相当なので当然ではあるが、学費が高額すぎると思う。また、それに対しての費用対効果が確立されていない状況を先に何とかしていただいてからではないと、受けられ難いと思います。
3	<p>本イノベータープログラムを受講し、自分自身の学びに繋がった反面自分自身の知識不足を知れ、本当に良かったなと思います。今回のプログラムで得た知識ですが、自分だけの学びではなく、「いかに地域に還元するか」も重要なことだと思いましたので、各職場に持ち帰り、イノベーターの輪が出来ればよいなと思います。</p> <p>個人的には、公務員の仕事は地域で活躍するプレイヤーとなることよりも、地域住民が活躍できる場をつくるサポーターとなることが重要ではないかと思います。しかし、学校教育には免許がありますが、社会教育分野は免許不要のため、なかなか学びの場がなく、自分の経験値や価値観をもとに地域住民が活躍できる場づくりに取り組んでいる状況です。アンケートの質問5の項目に「地域教育に関する専門性の修得」とありますが、地域レジリエンス学環が、受講生本人が地域課題解決について学びつつ、地域課題解決に携わる人材の育成方法を学ぶことができるプログラムも充実していれば良いなと思いました。(社会教育士など別の場所で学べる内容かもしれませんが……)</p> <p>自分自身が公民館主事の職に就いており、自分の経験談メインの感想となり申し訳ないです！本当にありがとうございました！</p>
4	防災や事前復興を踏まえた地域づくりは、特に少子高齢化の進展が著しい地域では重要な課題であると思われることから、学環で学ばれた人材が地域で活動されることを考えると楽しみでもあり、地域や自治体にとって大きなプラス要素だと思います。自治体からの受け入れに特化した課程や年度の設定があれば、より浸透するように思いました。(現在の仕事や生活をしながら並行的に学ぶことは少し難しいのかもしれないと思ったものです。)
5	新しい取り組みなので、どれがいいと言いつらい点はあります。今後の地域の発展に対して、今の職場や仕事にプラスしたスキルや能力を磨くためにはこのような場があることは地方にとっては非常に価値があると思っています。例えば、行政との連携による社会実験がしやすい環境などがあるとさらに広がる気がします
6	研究科を跨いだ学環という概念は魅力的ですが、それだけでは活用するリソースが大学内に留まります。地域に根付いた大学外の企業等のリソースとの連携があれば更に魅力的なプログラムになるかと思います。
7	多様化する現代社会のニーズに対して、多様な視点・技術を持った多能エンジニアの育成は不可欠と考え、地域レジリエンス学環はそうした人材育成の場として相応しいと思います。

8	レジリエンスの言葉を使うということから、「たくましさ」も要素の一つとして考えた履修体制を構築してほしい。そして、我が国を立て直す気概をもった人材の育成を目指していただきたい。
9	学費等の総額。カリキュラム。講師。
10	博士号がとれる課程の新設があれば進学を検討したい。
11	個人的には高卒なので対象外ですが、対象の方で、中堅どころの人を対象に役所の研修に取り込むことができればいいと思います。
12	現代のニーズにマッチしたとても良い取組だと思います。新設されれば修学も考えたいと思います。
13	新設の趣旨に対して、現在、社会的に求められることは共感できます。ただ、自分が仕事以外で数年かけて学ぶにはハードルが高く、それをどう仕事に反映させていくかというイメージも湧きづらいというのが正直な感想です。
14	社会人の立場における修士課程での成果やアドバンテージが不透明である。魅力的で具体的な成果等が得られないようであれば、進学のリスクを取りにくいと思いました。
15	貴校と地域が連携し、専門的な技術や知識をもって持続可能な地域づくり及び地域発展のために取り組んでいただけることはとてもありがたく、期待を寄せております。
16	取り組みは良いと思います。

【資料 3-3】 本学環の修了生採用とリカレント教育としての活用に関する調査の結果

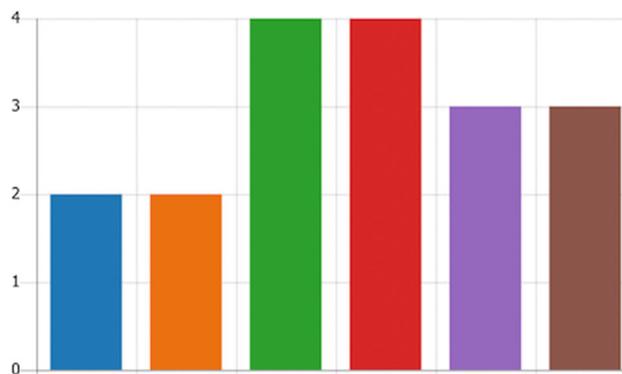
1. 貴社・貴機関の属する業種について、以下から該当するものを1つお選びください。

[More Details](#)



2. 貴社・貴機関の従業員数について、以下から該当するものを1つお選びください。

[More Details](#)



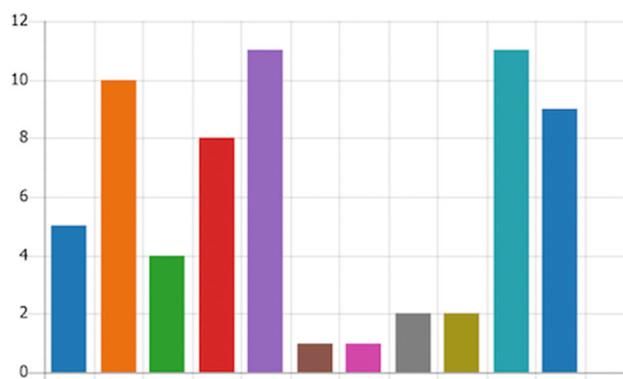
3. 差し支えなければ貴社・貴機関のお名前をご記入ください。

愛媛県中小企業団体中央会、愛媛信用金庫、複建調査設計株式会社、三浦工業株式会社、松野町、伊予市、内子町、株式会社愛媛銀行、愛媛県中小企業家同友会、東温市、西条市、株式会社テレビ愛媛、日泉化学株式会社、帝人株式会社

4. 愛媛大学では、令和5年度に地域レジリエンス学環を新設することを検討しています。貴社・貴機関からご覧になって、地域レジリエンス学環を修了することは、どのような点で魅力を感じますか。当てはまる項目を選んでください（複数回答可）。

[More Details](#)

● 修士号が取得できること	5
● 防災・減災に関する専門性が...	10
● (事前)復興に関する専門性...	4
● ICTに関する専門性が修得でき...	8
● 地域社会の持続可能な発展に...	11
● 国際社会の持続可能な発展に...	1
● 心的ケアに関する専門性が修...	1
● 地域教育に関する専門性が修...	2
● 研究開発能力が身につくこと	2
● 地域の課題にかかる課題解決...	11
● 地域の課題にかかる実践能力...	9
● Other	0



5. 貴社・貴機関からご覧になってこの学環の構想は魅力的だと思いますか。該当の項目を選んでください。

[More Details](#)

● とても魅力的	1
● 魅力的	16
● 魅力的ではない	1
● 全く魅力的ではない	0

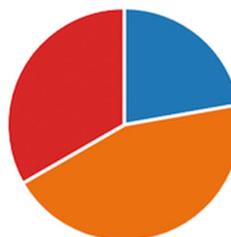


6. 地域レジリエンス学環が設置された場合、貴社・貴機関は地域レジリエンス学環の修了者についてどのようにお考えですか。

[More Details](#)

Insights

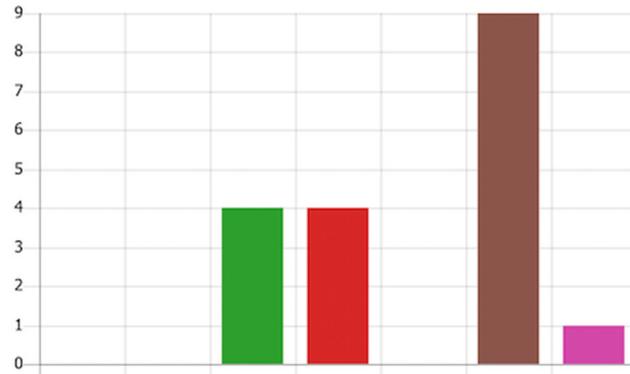
● 積極的に採用したい	4
● どちらかと言えば採用したい	8
● 採用したいと思わない	0
● わからない	6



7. リカレント教育の一環として貴社・貴機関の社員等を地域レジリエンス学環に入学させたいですか。

[More Details](#)

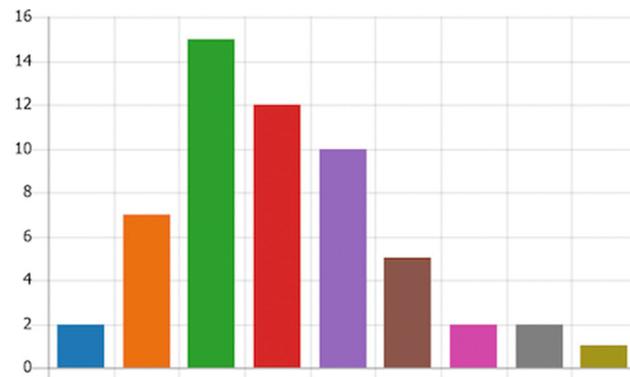
● ぜひ入学させたい（費用は会...	0
● ぜひ入学させたい（費用は一...	0
● 本人の希望があれば入学させ...	4
● 本人の希望があれば入学させ...	4
● 必要性を感じない	0
● わからない	9
● Other	1



8. 地域レジリエンス学環にはどのような制度があれば、リカレント教育の場として利用しやすいと考えますか（複数回答可）。

[More Details](#)

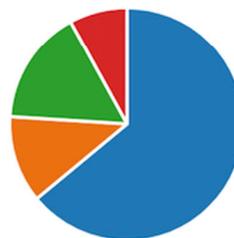
● 長期履修制度	2
● 早期修了制度	7
● 夜間開講／土日開講	15
● 遠隔授業	12
● オンデマンド型の授業	10
● 給付型の奨学金	5
● 現在の職場と愛媛大学の連携...	2
● 該当なし	2
● Other	1



9. 貴社・貴機関の社員等が地域レジリエンス学環にリカレント教育の一環として入学することに関して何が障害だと考えられますか（複数回答可）。

[More Details](#)

● 本人の業務と大学での学習の...	16
● 業務現場において本人の上司...	3
● 大学院の学習内容は業務現場...	4
● Other	2



10. 本学の地域レジリエンス学環の新設について、コメントやご提案、さらに聞きたいこと等がありましたら、ご記入ください。

1	<p>地域を学ぶことは公務員にとって大切なことですが、他の事例や研究を踏まえて総合的に学ぶ機会がありません。今回、愛媛大学でこのような取り組みができることは大変良いことだと思います。公務員の学び直しの場になることも期待します。ただ、松野町と愛媛大学では距離があるため、ZOOMや土日授業を取り入れてもらい、学びやすい環境整備をお願いしたいと思います。</p>
3	<p>業績や即戦力の人材育成につながりやすいようなイメージがしやすい「ICT スキルの向上」をもう少し前面に分かりやすくしてもよいのではないかと感じました。</p>
4	<p>業務との両立が可能なカリキュラムなのか、今の情報では判断ができない。</p>

要 望 書

貴学におかれましては、7学部6研究科からなる大変多岐にわたる教育研究分野を担う本県の高等教育機関の中核拠点として、社会や地域の知的・文化水準の向上に貢献するとともに、地元愛媛に貢献する人材を輩出されてきました。

本県は現在、全国で少子高齢化が最も進む地域の一つであると同時に、頻発化する豪雨や南海トラフ地震などの自然災害リスクに曝されており、今後、人口減少や気候変動等に伴う様々な社会情勢の変化に柔軟かつしなやかに対応できる持続可能な地域社会を実現するためには、多角的な視点で地域の過去から未来までを展望し、事前に対策を講じることができる人材が求められています。

また、災害に強い強靱な社会基盤整備を進めていくだけでなく、人と自然や人と社会のつながりの再生を通して、安全・安心に充実した生活をおくることができるレジリエントな地域づくりを実現する実践力ある人材も必要となります。

そのためには、既存の学問分野の枠にとらわれない横断的かつ高度な教育研究の機会が大変重要であると考えており、貴学がもつ多様な教育研究資源を結集した、南海トラフ地震等の大規模災害を念頭においた防災・減災、国土強靱化と少子高齢化時代における地域の持続的発展に貢献できる人材育成を行う大学院修士課程レベルの教育プログラムの開設を切に要望いたします。

貴学におかれましては、これまで培われた教育研究実績をさらに発展させ、引き続き本県の「知の拠点」として、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月22日

国立大学法人愛媛大学長 仁科 弘重 様

愛媛県知事 中村 時広

